

「世論調査の現況」調査票 記入例

		記入例	記入上の注意
1 調査主題 (調査の名称)		〇〇〇〇〇に関する市民意識調査	別紙「調査要領」に該当する調査か確認してください。 (ない場合は連絡票に記入)
2 調査項目		1 現在の生活についての意識 2 今後の生活についての意識 3 生き方、考え方 4 〇〇制度の認知度 5 市政に対する要望 6 7 8 9 10	意識に関する部分を、項目別に簡潔に記入してください。
3 調査実施時期		平成 27 年 2 月	平成26年4月～平成27年3月の範囲となります。
4 対象者 (母集団)	地域特性	1 全国 2 1都道府県 ③ 1市区町村 4 2つ以上の都道府県 5 2つ以上の市区町村 6 1市区町村内の一部の地域 7 地域概念に該当しないもの x その他 ()	「6. 1市区町村内の一部の地域」とは、〇〇市の〇〇町のみを対象にした場合などです。「7. 地域概念に該当しないもの」とは、〇〇図書館の利用者、〇〇大学の学生など、対象者の居住地域を特定できない場合です。
	個人特性	以下のような例を参考にご記入ください。 例1) 20歳以上の一般男女 例2) 小学生児童の保護者 例3) 要介護認定を受けている者 など	調査対象者の年齢、職業などの要件を具体的に記入してください。
5 対象者の抽出方法		① 無作為抽出法 2 全数調査 3 有意抽出法	
6 対象者の抽出台帳 (リスト)		① 住民基本台帳 2 選挙人名簿 3 電話帳 x その他の台帳 () 4 台帳は使用せず 5 2つ以上の台帳を併用したもの	「x. その他の台帳」の場合は () 内に具体的に記入してください。
7 調査方法		① 個別面接聴取法 2 訪問留置法 3 郵送法 4 その他の個別記入法 () 5 電話法 6 集団記入法 7 2つ以上の方法を併用したもの x その他 ()	「2. 訪問留置法」は、調査員などが訪問して調査票を対象者に預け、また後日に回収に伺う方法です。また、「3. 郵送法」は、往復とも郵送で調査を実施する方法です。なお、訪問留置郵送回収法、郵送留置訪問回収法は「4. その他の個別記入法」に〇をして、() 内に具体的に記入してください。
8 標本数、回収数、回収率		標本数 10,000人 回収数 6,022人 回収率 60.2%	あらかじめ目標とした標本数に達するまで行った調査や、結果的に回収した数を標本数とした調査は、回収数のみ記入してください。回収数は有効回収数を記入してください。
9 調査委託の有無		① 有 2 無 調査委託機関の名称 [〇 〇 〇 社]	
10 同一主題による 前回調査の有無		① 有 (平成 〇〇 年 〇 月) 2 無	調査の名称が変わっても、内容が同じなら ① としてください。
11 原データ (調査個票、個別データの入っている磁気テープなど)保存の有無、保存の形態及び期間	有無	① 有 2 無	
	形態	1 調査個票(紙) 2 CD等(磁気テープ・FD・MO・CD等) ③ ハードディスク(サーバー等) 4 その他 ()	③ の場合に記入してください。複数回答可。 その他の場合は () 内に具体的に記入してください。
	期間	〇〇 年 x 無期	③ の場合に記入。複数の場合は最長年を記入。無期の場合はxに〇。

(注1) 用紙が足りない場合はコピーまたは新情報センターのHPから様式をダウンロードしてください。

その際は、右上の括弧内に(当該頁数/全頁数)を記入してください。

(注2) 該当する調査がない場合は、別途同封の「連絡票」にてご連絡ください。